

授業概要

映像に見るアメリカ文化 — 映像に見る英語圏文化を検証することで、異文化理解を目指す。

英語圏文化の中心であるアメリカという国家の歴史と文化を、映画などの映像からたどってゆく。映画なかになら反映されている英語圏の文化を見ることで異文化理解を目的とする。

授業計画

第1回	導入 — 英語圏文化とは何か
第2回	先住民問題 — 『ポカホンタス』：インディアン捕囚体験記における異文化との遭遇
第3回	ピューリタン文化の形成 — 『フットルース』：宗教革命と大陸からの脱出
第4回	移民文化 — 『タイタニック』：自由な夢の世界としての新大陸のイメージ形成
第5回	独立戦争 — 『インディペンデンス・デイ』：英国との対立と大統領というヒーロー
第6回	西部開拓と明白なる使命 — 『駅馬車』：西部劇という神話と歪められる先住民像
第7回	アメリカと銃社会 — 『ボウリング・フォー・コロンバイン』：銃文化の形成
第8回	奴隷制度と南北戦争 — 『リンカーン』：奴隷制度の形成と終焉
第9回	二つの世界大戦 — 『パールハーバー』：世界大戦とアメリカ
第10回	東西冷戦下の文化 — 『ボディ・スナッチャー』：共産主義と赤狩りの脅威
第11回	核の時代 — 『放射能 X』：ソ連の核兵器の脅威と放射能の恐怖
第12回	東西冷戦の激化 — 『地獄の黙示録』：ベトナム戦争という暗黒
第13回	同時多発テロ — 『スパイダーマン』：アメリカンコミックの文化と復活するヒーローたち
第14回	テロリズムの時代 — 『パトリオット・デイ』：歪められるイスラム教徒
第15回	大統領選挙 — 『華氏9.11』：ヒーローとしての大統領
第16回	定期試験

到達目標

アメリカという国家の根底にある文化を知ること、国際理解を目指す。ニュース報道などが関心をもって見られるような現代社会の基礎知識がつくことを望みたい。

履修上の注意

楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと。

予習・復習

配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再び読み直してほしい。

評価方法

学期末試験（70%）、提出物およびコメントペーパー（40%）などの総合評価。

テキスト

プリントなどの配布資料 また参考文献については適宜指定する。